

Dental Anesthesiology

1 unit 4th-year(2nd semester)

Hiroshi Kitahata · PROFESSOR / DENTAL ANESTHESIOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Shigemasa Tomioka · ASSOCIATE PROFESSOR / DENTAL ANESTHESIOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Satoru Eguchi · ASSISTANT PROFESSOR / DENTAL ANESTHESIOLOGY, COURSE IN DENTISTRY, Kazumi Takaishi · ASSISTANT PROFESSOR / DENTAL ANESTHESIOLOGY, COURSE IN DENTISTRY

Target) 侵襲に対する生体防御反応の病態生理を理解し、肉体的苦痛を除去する方法を説明できる。また術前の患者の全身状態を適切に評価し説明できる。さらに、精神鎮静法と全身麻酔法を理解し、説明できる。

Outline) 臨床麻酔として精神鎮静法と全身麻酔を学ぶ。また歯科治療中の危機管理の知識を修得する。

Style) Lecture

Manner) 講義形式 ビデオ、スライドを適宜用いる。

Location) 第4講義室

Theme) 術前の患者評価、全身麻酔、麻酔中の全身管理法、危機管理

Notice) 1. 受講者は各回の内容項目と到達目標を参考に事前予習を行い、学習した内容をノートにまとめる。 2. 受講者は毎回講義後に復習し、学習成果をノートにまとめる。 3. 予習および復習内容の提出を求めることがある。 4. 試験は全講義数の2/3以上の出席を満たしている者に対して行う。 5. 予習、復習をすることが出席評価に含まれる。

Goal) (<> 内はコアカリ対応)

1. 麻酔前の患者の全身状態を把握できる。 <F-1-3>-(1)><F-1-3>-(4)>
2. 全身麻酔の目的や種類と特徴を説明できる。 <F-1-3>-(4)>
3. 吸入麻酔薬の薬理作用や特徴を理解する。 <F-1-3>-(1)>
4. 全身麻酔に用いる鎮静薬と鎮痛薬について理解する。 <F-1-3>-(1)>
5. 筋弛緩薬の作用機序と分類を述べることができる。 <F-1-3>-(1)>
6. 悪性高熱症の病態を説明できる。 <F-1-3>-(1)>
7. 全身麻酔の導入方法を理解する。 <F-1-3>-(1)>
8. 気道確保の概略とその方法について説明できる。 <F-1-3>-(1)>
9. 麻酔中に行われるモニタリングの目的や内容を理解する。 <F-1-3>-(1)>
10. 体液バランスと輸液療法について説明できる。 <D-2-3>-(9)>
11. 小児の全身管理の概略を理解し、その特殊性を述べることができる。 <F-4--3><F-1-3>-(1)>
12. 高齢者の身体的、精神的及び心理的特徴を理解する。 <F-4--3><F-1-3>-(1)>

13. 歯科手術・治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明できる。 <F-1-3>-(1)>

14. 全身疾患を有する患者の麻酔管理上の注意を説明できる。 <F-1-3>-(1)>

15. 救急処置の基本を身につける。 <F-1-5>

16. 疼痛の種類、発生機序及び制御機構・方法を理解する。 <D-4-6><F-2-4>-(6)>

Schedule)

	大項目	中項目	内容	到達目標	担当
1.	全身麻酔	術前管理	患者評価と術前検査	1	高石
2.	〃	吸入麻酔	吸入麻酔薬の薬理と代謝	2, 3	富岡
3.	〃	静脈麻酔	静脈麻酔薬の分類と薬理	2, 4	〃
4.	〃	筋弛緩薬	作用機序と分類	2, 5	江口
5.	〃	全身麻酔の合併症	循環系, 呼吸系, 神経系, 代謝系合併症	2, 6	〃
6.	〃	麻酔と機器	気道確保, 器具	7, 8	高石
7.	〃	〃	麻酔器, モニター	9	北畑
8.	〃	輸液	体液と輸液	10	江口
9.	〃	小児の麻酔	小児麻酔の特徴と問題点	11	北畑
10.	〃	高齢者の麻酔	高齢者麻酔の特徴と問題点	12	〃
11.	〃	有病者の管理	循環系疾患ほか	13, 14	〃
12.	〃	〃	呼吸系疾患ほか	〃	〃
13.	〃	〃	障害者, 精神疾患ほか	〃	高石
14.	危機管理	救急蘇生	一次救急処置と二次救急処置	15	〃
15.	ペインクリニック	神経性疾患	神経痛, 神経麻痺, 味覚障害	16	富岡

Evaluation Criteria) 講義内容を中心に筆記試験(マークシート方式)を行う。テスト(100点満点)で60点以上を合格とする。出欠席状況も考慮する。

Re-evaluation) 行う。

Textbook)

- ◇ 参考書: 歯科麻酔学 第6版, 医歯薬出版, 2003
- ◇ 参考書: 臨床歯科麻酔学 第3版, 永末書店, 2005
- ◇ 参考書: ミラー麻酔科学 第6版, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2007
- ◇ 参考書: Local Anesthesia of the Oral Cavity W.B.Saunders Co.1995

Contents > <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217327>

Contact

- ⇒ Kitahata (+81-88-633-7366, hiroshi@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: (月,水,木,金17:00-18:00/生命科学研究棟3F 歯科麻酔科学教授室))
- ⇒ Tomioka (+81-88-633-7367, tomioka@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: (月-金17:00~ 18:00/生命科学研究棟3F 歯科麻酔科学准教授室))
- ⇒ Eguchi (+81-88-633-7367, seguchi@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: (月,火,水,木17:00~ 18:00/生命科学研究棟3F 歯科麻酔科学医局))
- ⇒ Takashi (+81-88-633-7367, takashi@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: (月,火,木,金17:00~ 18:00/生命科学研究棟3F 歯科麻酔科学医局))